

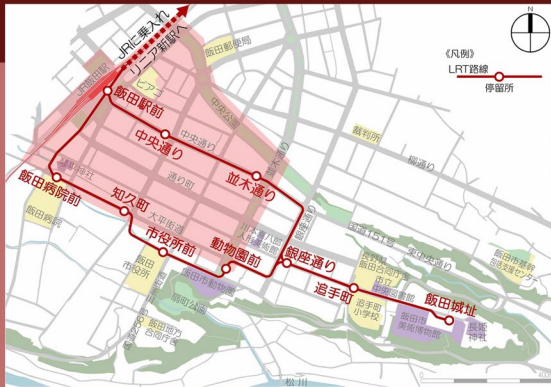
Linear front HILLTOP

—丘の上を結ぶ—

中央リニア新幹線の開通によって、飯田下伊那地域の人の流れが大きく変わろうとしています。飯田で育まれた水引のように「丘の上」の街を結ぶことにより、人々が集う中心市街地をつくります。

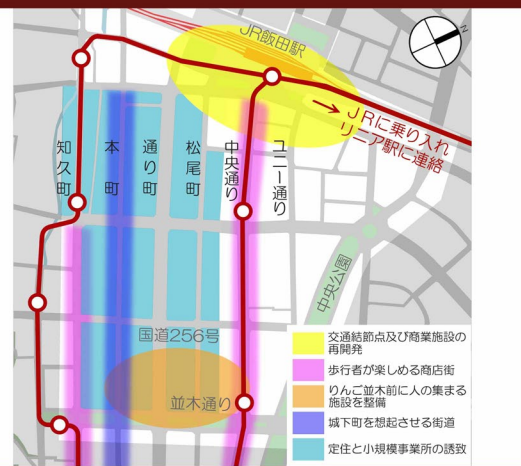
●バッテリー式LRTの整備

中心市街地を周回するLRT路線を整備し、JR飯田線に乗入れ、中央リニア新幹線の長野県駅(仮称)に連絡します。定時性に優れ、環境負荷が少ないLRTにより、リニアからの人の流れを結ぶと共に、高齢者などにも暮らしやすい街をつくります。



●歩車分離と通りのゾーニング

中心市街地内の自動車の通る幹線を絞り込み、その他の通りを歩行者中心の通行に制限します。それにより通りごとの位置付けや土地利用の方向性を明確にします。通り町と三州街道を主要な自動車幹線とし、中央通り・本町・松尾町は歩行者中心の通りとすることで中心市街地の来訪者と定住回帰を促進します。



●各エリア・通りの整備内容

《JR飯田駅前》
LRTからJR飯田線・路線バスへと同一ホーム上で乗換えられるようにします。デッキウォークを整備し、駅西側からのアクセスを向上させます。

《中央通り》
歩行者とLRT中心の通行に制限し、特例道路占用制度を活用する事で、通り上にオープンカフェや商店の賑わいを創出します。

《本町》
飯田城址へ続く門前通りの性格を持たせた街路へと整備します。

《松尾町》
クリエイターやベンチャー企業などの小規模事務所を誘致し、地場産業の活性化や、中心市街地への就業人口の回帰を目指します。

《知久町・ユニー通り》
車道を開放した路上バザールや、バル街イベント等を行い、地元や周辺地域から人を呼び込みます。

《裏界線》
位置指定道路扱いを適用し、裏界線に面した建築を可能とすると共に、セットバックによる路地整備を促進します。

《りんご並木市民大学》
りんご並木を中心に、丘の上を大きなキャンパスに見立て、市民の生涯学習の場とします。

▼ 本町



▼ JR飯田駅前



▼ 知久町



▼ 松尾町



▼ 中央通り



▼ 裏界線に面した定住促進住宅



▼ りんご並木市民大学

